

ときを越え
受け継がれるもの

衣川1号ダム(増沢ダム)

Ⅱ 衣川区増沢Ⅱ

衣川流域の5つの防災ダムはカスリン・アイオン台風の被害を教訓に築造され、衣川区・前沢区・平泉町の農地933畝と農業施設を守る。その一つである衣川1号ダムは昭和26年に着工し39年に完成した。均一型アースダムでスライドゲート1門を持ち、堤高35・45㍎、堤頂長212㍎、総貯水容量は2970千立方㍎である。

かつてこの地には、増沢の集落があった。秀衡塗発祥の地として、塗師、木地師が住み、工房が軒を並べた。70世帯におよぶ人々が暮らし「まほろばの里」として栄えたというが、今は無人である。集落は無くなったが、増沢の名は増沢塗に受け継がれている。

衣川区内の国見平温泉では、このダムのダムカードを配布している。窓口に衣川1号ダムの撮影画像を提示することで入手できるが、皆さんもぜひ手に入れてみてはいかがだろうか。



1



2



1 ダム湖北岸から堤体とダム湖を望む。周辺の紅葉は、11月初めごろにピークを迎える 2 平成元年にダム近くに建立された望郷の碑。うるし塗りのハケとヘラを模したデザインで、基部には望郷の言葉が刻まれている

広告

